

理事長あいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、私どもあいち産業振興機構の事業運営に際しまして、格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年も引き続き、皆様方のご協力をいただきながら、県内中小企業・小規模企業の皆様の振興に全力を尽くす所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、半導体不足、原油・原材料価格の高騰、ウクライナ情勢の長期化や円安等による国内経済の不透明性が、先行きに危機感を募らせる状況となりました。愛知県による中小企業景況調査（2022年12月28日発表）では、10月から12月までの景況感は、前期から小幅改善されてはいるものの、原材料高や仕入れ価格の上昇などが引き続き経営上の問題点の1位に挙げられており、総じて厳しい傾向にあると言えます。

このように、中小・小規模企業の皆様にとって厳しい状況が続いておりますが、本年10月からは「適格請求書等保存方式」いわゆる「インボイス制度」が開始されます。また、DX推進の必要性が増す中でサイバーセキュリティの問題もクローズアップされてまいりました。さらに、カーボンニュートラルの実現に向け、中小企業においてもサプライチェーン全体での温室効果ガス排出量削減を求められていることからその対応も迫られてきています。

このような中、当機構といたしましては、インボイス制度やカーボンニュートラルを始め、経営・金融・税務・IT・DX各分野における実務経験豊かな専門家であるマネージャーによる相談や、経営上のあらゆる相談に対応する「愛知県よろず支援拠点」を運営しております。また、昨年度に設立した「あいち産業DX推進コンソーシアム」では、現在約320の産業界、学界、金融業界、行政、産業支援機関様にご加盟いただき、地域のデジタル化・DXの推進に向けた取り組みを行っております。さらに、商談会等を通じて新たな取引・販路開拓の支援を行うとともに、創業を目指す方へのセミナーや相談・情報提供、地域資源を活用した新事業展開への助成を行う「あいち中小企業応援ファンド」、大企業の開放特許を活用したビジネスマッチングによる支援、海外でのビジネス展開に対する国際アドバイザーによる支援、IT・デジタル化に向けての支援など、従来からの経営支援も一層充実と強化を図り、中小・小規模企業の皆様が、円滑に事業活動を展開することができるよう、引き続き努めてまいりたいと考えております。

当機構は、これからも県内中小・小規模企業の皆様との信頼関係の構築と支援の充実に全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の今年一年が素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げ、
新年の挨拶とさせていただきます。

令和5年1月4日

公益財団法人あいち産業振興機構

理事長 兼 松啓子

